

**「等々力緑地再編整備基本構想」 - 「基本構想（案）」からの変更点-**

変更の説明	「基本構想」への記載内容
<p>①現在、風車と太陽光発電装置を設置して行っている自然エネルギー活用の取組をもっと進めてほしいという意見に対応（パブリックコメント）</p>	<p>【11ページ】</p> <p>3 公園の基本的な考え方</p> <p>3-2 「公園の基本的な考え方」の内容</p> <p>(2) 川崎から発信するスポーツ・健康づくりの拠点としての公園 「施設の基本的なあり方」</p> <p>ウ 公園全体としての機能の充実に向けた整備等のあり方</p> <p>追加</p> <p>(ウ) <b>自然エネルギーの活用等地球環境への配慮</b></p> <p>太陽光や風力などの自然エネルギーの活用や雨水の利用など、地球環境に配慮した施設の検討を行います。</p>
<p>②梅園（四季園南）の手入れを強化してほしいという意見に対応（パブリックコメント）</p>	<p>【22ページ】</p> <p>4 「公園の基本的な考え方」を実現するために</p> <p>4-2 機能充実、まちづくりとの連携、維持管理運営の仕組みづくり</p> <p>ア 機能の充実、まちづくりとの連携、維持管理運営のあり方</p> <p>●持続可能な維持管理運営</p>
<p>③日本庭園の柵を外してほしいという意見に対応（パブリックコメント）</p>	<p>新：多様な主体がどの時点からどのように関わっていただけるかなども含め、経営的な視点に立った運営手法や再整備後の維持管理のプログラム・仕組みづくりなど、<b>日常的な管理の向上と</b>持続可能な維持管理運営を検討します。</p> <p>旧：多様な主体がどの時点からどのように関わっていただけるかなども含め、経営的な視点に立った運営手法や再整備後の維持管理のプログラム・仕組みづくりなど、持続可能な維持管理運営を検討します。</p>
<p>④四季園にある鉄の門は開錠もしくは撤去してほしいという意見に対応（パブリックコメント）</p>	<p>新：多様な主体がどの時点からどのように関わっていただけるかなども含め、経営的な視点に立った運営手法や再整備後の維持管理のプログラム・仕組みづくりなど、<b>日常的な管理の向上と</b>持続可能な維持管理運営を検討します。</p> <p>旧：多様な主体がどの時点からどのように関わっていただけるかなども含め、経営的な視点に立った運営手法や再整備後の維持管理のプログラム・仕組みづくりなど、持続可能な維持管理運営を検討します。</p>
<p>⑤一貫性と継続性を維持するような、常に手入れの行き届いた公園であってほしいという意見に対応（パブリックコメント）</p>	<p>旧：多様な主体がどの時点からどのように関わっていただけるかなども含め、経営的な視点に立った運営手法や再整備後の維持管理のプログラム・仕組みづくりなど、持続可能な維持管理運営を検討します。</p>

変更の説明	「基本構想」への記載内容
<p>⑥「公園として拡大するエリア」について、公園機能として使えるのは10年以上先のようにだが、市民にいらぬ期待を持たせることにならないかという意見に対応</p>	<p>【3ページ】</p> <p>2 再編整備の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステップ1：今回対象とする基本構想区域</li> <li>□ 公園として拡大するエリア（面積6.3ha）</li> </ul> <p>新：<u>下水処理施設建設中の上部エリアであり、下水処理施設建設の進捗にあわせ、工事に支障のない区域を、段階的に公園区域へ編入していきます。</u></p> <p>旧：下水処理施設上部のエリアであり、段階的な利用も含めて公園としていきます。</p>
<p>⑦「市内唯一の硬式野球場」という表現は適切でないという意見に対応</p>	<p>【10ページ】</p> <p>3 公園の基本的な考え方</p> <p>3-2 「公園の基本的な考え方」の内容</p> <p>(2) 川崎から発信するスポーツ・健康づくりの拠点としての公園 「施設の基本的なあり方」</p> <p>イ 各施設の方向性</p> <p>表中、硬式野球場の「目標」について</p> <p>新：<u>高校野球の予選や社会人大会、夜間硬式利用にも対応する施設</u></p> <p>旧：<u>市内唯一の硬式野球場として、高校野球の予選や社会人大会、夜間硬式利用にも対応する施設</u></p>

# ①の変更（等々力緑地再編整備基本構想 11ページ）

## ウ 公園全体としての機能の充実にに向けた整備等のあり方

- (7) 限られた敷地の有効利用  
魅力を高めて利用の拡大を図るため施設の多目的利用や集約化・複合化・立体化などを検討します。
- (イ) 施設のネットワーク化  
緑地全体で施設の一体的な利用を検討します。
- (ウ) 広場・空間の確保  
人の流れなどを考慮し、憩い・休息・集合などの場となる広場・空間の確保を検討します。
- (エ) 防災面への配慮  
避難スペースの確保とともに貯水施設の複合化など災害時の機能も考慮した施設の検討を行います。
- (オ) 市民や民間の多様な活動の場の確保  
空間や施設の作り方によってさまざまな活動につながる自由度の高い空間の確保を検討します。
- (カ) 周辺住民等への配慮  
周辺への影響を配慮して、施設の検討を行います。
- (キ) バリアフリー等誰もが利用しやすい施設の検討  
ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、バリアフリーなど誰もが利用しやすい施設とします。
- (ク) 自然エネルギーの活用等地球環境への配慮  
太陽光や風力などの自然エネルギーの活用や雨水の利用など、地球環境に配慮した施設の検討を行います。

### ■各施設の方向性

#### (a) 老朽化への対応や施設水準や機能の向上が必要となる施設

- 硬式野球場
- 陸上競技場
- プール
- 正面広場
- 釣池

#### (b) 他施設の整備に伴い整備の検討が必要となる主な施設

- テニスコート
- 子どもの遊び場
- 催し物広場・噴水広場・プール前広場などの広場
- 駐車場

#### (c) アプローチや周辺の改修が必要となる主な施設

### ■公園全体としての機能の充実にに向けた整備等のあり方

- 限られた敷地の有効利用
- 施設のネットワーク化
- 広場・空間の確保
- 防災面への配慮
- 市民や民間の多様な活動の場の確保
- 周辺住民等への配慮
- バリアフリー等誰もが利用しやすい施設の検討
- 自然エネルギーの活用等地球環境への配慮

## 4-2 機能充実、まちづくりとの連携、維持管理運営の仕組みづくり

周辺まちづくりと連携し、魅力ある施設整備と運営を実現するため、マーケティング・経営的手法を導入するとともに市民・NPO・企業など多様な主体による参画・協働を進めます。

### ア 機能の充実、まちづくりとの連携、維持管理運営のあり方

活力ある等々力緑地を目指し、利用者にとって魅力的で多様な活用ができる機能の充実、周辺のまちづくりや地域との支え合い、互いの魅力アップやより一層の活性化など好循環につながる連携のあり方、持続可能で利用者満足度を向上させる管理運営との相乗効果による活性化につながる仕組みづくりを検討します。

#### ● 公園の機能の充実

水や緑などみどり豊かな公園の基本機能とともに、競技者やスポーツ観戦などのスポーツ機能、気軽な健康維持のための運動機能、レストランやカフェ等における交流機能、ミュージアムや野外芸術活動などを通じた文化芸術機能など、既存施設の機能の充実や新たな機能の導入などさまざまな利用の拡大を図り、さらにそれぞれの機能を連携させて等々力緑地全体で一体となった魅力の提供について検討します。

#### ● まちづくりとの連携

緑地周辺のさまざまな活動や、商店街や商店、医療施設や学校、周辺まちづくりなど地域が持つさまざまな地域力と緑地の機能が相互に補い高め合い、相乗効果として緑地を含めた地域の魅力や集客力の向上などにつながるような連携について検討します。

#### ● 持続可能な維持管理運営

多様な主体がどの時点からどのように関わっていけるかなども含め、経営的な視点に立った運営手法や再整備後の維持管理のプログラム・仕組みづくりなど、**日常的な管理の向上**と持続可能な維持管理運営を検討します。

### イ 整備・管理運営のしくみのあり方

行政を主体とした整備や維持管理・運営から、パークマネジメントの視点に基づき行政の責任を明確にしながら多様な主体の参加・参画を活かした整備と維持管理運営の仕組みの導入などの検討を行います。

#### ● 行政主体の多様な参加・参画も視野に入れた環境整備

行政が主体となって多様な参加・参画をさまざまな段階で図れるような環境整備を推進し、整備・改修や維持管理運営の体制づくりを検討します。

#### ● 市民との協働・市民の参画

市民ボランティアやフロンターレ・サポーター等の維持管理活動への自主的な参加を踏まえ、これからの等々力緑地のあり方を議論する場の提供や、イベントや各種プログラムの企画等、維持管理運営について市民との協働を検討します。

#### ● 企業の参画

公園でのイベントの集客力や公園施設の多様な活用などをビジネスチャンスと捉える企業の参画を促し、公園の魅力を高め、維持管理運営の高度化・効率化を検討します。

#### ※パークマネジメントの考え方

維持管理・運営管理などの従来の枠を超え、効果的・効率的な管理運営の視点から豊かな自然的環境を持続可能とするとともに、公園のサービス・価値を向上させることを目指して、市民・NPO・企業などと連携協議しながら総合的な視点に立って公園を運営していくこと。

**2 再編整備の進め方** ……段階的な再編整備の推進……

等々力緑地の再編整備に向けては、次のように段階的な整備を進めていきます。  
基本構想策定にあたっては、将来のステップ2を見据えながら、ステップ1（基本構想の計画期間）の基本構想区域について整備を進めていきます。

● **現況の等々力緑地（都市計画決定面積 56.4ha）は大きく2つに区分できます**

- 公園として公告しているエリア（面積 36.6ha）  
南側に運動施設を中心とした施設が配置され、都市公園区域として供用がされている区域（図中、着色区域）
- 公園として未整備の区域（面積 19.8ha）
  - (1) 下水処理施設上部エリア  
排水基準へ対応するための新たな取組を実験中（建設事業が完了した部分は、一般利用者が楽しむサッカー場及び駐車場として利用されており公告済み）
  - (2) 住宅・工業団地・企業等グラウンドが存在する区域

● **ステップ1：今回対象とする基本構想区域**  
現時点で具体的な整備が見込める段階（基本構想の計画期間）

- 基本構想区域（面積 42.9ha）  
既に公園として公告しているエリアに公園として拡大するエリアを加えたものを基本構想区域とします。
- 公園として拡大するエリア（面積 6.3ha）  
下水処理施設上部のエリアであり、段階的な利用も含めて公園としていきます。  
**下水処理施設建設中の上部エリアであり、下水処理施設建設の進捗にあわせ、工事に支障のない区域を、段階的に公園区域へ編入していきます。**

● **ステップ2：都市計画決定されている等々力緑地**

- 事業化と区域のあり方を検討するエリア  
現在、住宅・工業団地・企業等のグラウンドが存在している区域についてはさまざまな課題があり、その解決に時間を要することが見込まれるため、課題解決に向けて事業化と区域のあり方を検討していきます。

⑦の変更（等々力緑地再編整備基本構想 10ページ）

イ 各施設の方向性

アで設定した各施設について、目標と整備の方向性を設定します。

	施設名	目標	整備内容
(a) 老朽化への対応や施設水準や機能の向上が必要となる施設の方向性	硬式野球場	市内唯一の硬式野球場として高校野球の予選や社会人大会、夜間硬式利用にも対応する施設	・硬式野球が安全に行え、観戦や応援などの環境が整った施設
	陸上競技場	1種公認陸上競技場として、陸上の大会やJリーグの試合などをよりの確かつ円滑に運営できる施設	・競技や観戦が円滑かつ安全に行える環境整備 ・競技を開催していないときにもイベントなどに利用可能な施設
	プール	児童の利用を主とした施設	・健康増進や、水に親しみ・学ぶことに配慮した施設 ・通年利用やじゃぶじゃぶ池などの親水施設への変更も検討
	正面広場	公園の入口として、公園の顔となるような施設	・人や車の流れなどを考慮するとともに、公園の各施設へ容易にアクセスできる施設
	釣池	釣りを楽しむレクリエーションとしての利用とともに、自然学習や親水空間として他の来園者へも開放	・水質の改善や親水空間の配置などについて検討し、一般来園者の利用も可能な施設
(b) 他施設の整備に伴い整備の検討が必要となる主な施設の方向性	テニスコート	各種大会の運営や日常的な利用に対応した施設	・プレーがしやすく、大会運営がスムーズに進行できる施設
	子供の遊び場	こどもの育成やコミュニケーションの場となる施設	・安全・安心で、創造力の発達や心や体の成長につながる施設
	催し物広場・噴水広場・プール前広場などの広場	再配置により集約し、人が集い、さまざまな利用ができる施設	・さまざまな利用を想定し、規模や舗装などを考慮した広場
	駐車場	駐車場配置計画により適切な位置・規模	・必要台数を確保するとともに、周辺交通に負担がかからないような配置を考慮した施設
(c) アプローチや周辺の改修が必要となる主な施設の整備の方向性	施設全般	緑地全体のネットワーク形成に向け、各施設の入口と園内動線とのネットワーク化・明確化など、アプローチや施設周辺の改修を検討	